

横浜マラソン 2021 の課題解決に向けて 協働してくださる企業/団体を募集します！

横浜マラソン組織委員会がヨコハマ SDGs デザインセンター のパートナーに加わりました

横浜マラソンでは、2019 大会からサステナビリティを意識した取組を行ってきました。

2021 大会は、その取組を強化すべく SDGs の「5つのP※」のうち、特に3つのPに着目した取組を推進し、「豊かな自然のもとで、すべての人が健康に暮らし、協力し合える世界」の実現に寄与することを目指しています。

ヨコハマ SDGs デザインセンターは、将来ビジョンとして掲げる「様々なステークホルダーとの連携による環境・経済・社会的課題の統合的解決を図る横浜型“大都市モデル”の創出」を目指し取組を進めています。

このたび、横浜マラソン組織委員会は、ヨコハマ SDGs デザインセンターとパートナーシップを結び、SDGs 未来都市・横浜の実現に向けた取組を進めることとなりました。

※5つのPと、横浜マラソン 2021 で着目する3つのP

- ◇ People【人間】
- ◇ Prosperity【繁栄】
- ◇ Planet【地球】
- ◇ Peace【平和】
- ◇ Partnership【パートナーシップ】



このたびのパートナーシップ締結による取組の一つとして、横浜マラソン 2021 の開催における重要課題である、給水所で発生するペットボトルの、効率的な回収とリサイクルについて及び使用済み紙コップの、安全で効率的な収集とリサイクルについて、横浜マラソン組織委員会が考える課題や企業/団体との連携イメージ等についての『説明会』を行い、課題解決に向けてともに取り組んでいただける企業/団体を募ります。

持続可能なマラソン大会を目指すことはもちろんですが、新型コロナウイルス感染症対策に資することや、さまざまな制約を受けながら過ごしている子ども達が、日々の生活の中で満足感や充実感を得られるように、といった視点を持って取組を進めたいと考えています。

また、本取組を通じ、連携する企業/団体の取組が具体化・事業化するきっかけになることも期待しています。

横浜マラソンの課題解決についてご興味のある企業/団体の皆様のご参加をお待ちしています。

■説明会について

開催日時：2021年6月18日（金） 15：00～16：30

開催方法：「Zoom」を利用した、オンライン説明会

申込方法：6月17日（木）正午までに、下記申込宛にメールを送付

申込先：ヨコハマSDGsデザインセンター 環境コーディネーター 河野（この）

e-mail kohno@exri.co.jp

※ 件名は「説明会参加希望」とし、以下の事項を記入してください

企業/団体名、参加者名、連絡先（メールアドレス）

■横浜マラソンの課題

◇コース上18か所の給水所と、スタート前、フィニッシュ地点で発生する空ペットボトルの処理

◇大会運営に支障をきたさない、効率的な空ペットボトルの回収方法

◇コース上18か所等の給水所で発生する使用済紙コップを、安全かつ効率的に収集できる方法

◇回収したペットボトルをリサイクルして、活用できる製品の開発

■横浜マラソンについて

「誰でも参加できるマラソンの開催」を熱望する市民を中心に10万人を超える署名が集まり、その声に応える形で1981年から開催されてきた「横浜マラソン」。

以来33回の開催を数えましたが、その距離は長くてもハーフまで。

2015年、満を持してフルマラソン化した「横浜マラソン」は、2020年11月1日に6回目となる大会を28,100人のランナーを迎えて開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止を余儀なくされました。

2021大会は感染症対策を万全に、ランナーだけでなくボランティアやスタッフなど、すべての関係者が安全に安心して参加できる大会の開催を目指しています。

【大会概要】

名称：横浜マラソン2021

開催日：2021年10月31日（日）

主催：横浜マラソン組織委員会

会長：山口 宏（公益財団法人 横浜市スポーツ協会会長）

プロデューサー：坂本 雄次

種目：フルマラソン（42.195km 参加者：20,000人）

車いすチャレンジ（約2km 参加者：100人）

オンラインマラソン（42.195km 参加者：8,000人）

■ヨコハマSDGsデザインセンターとは

「SDGs未来都市・横浜」の実現を目指し、環境・経済・社会的課題の統合的解決を図る横浜型「大都市モデル」の創出に向け、多様な主体との連携によって自らも課題解決に取り組む中間支援組織。